



「こんにちは 市長です」

2月1日号

コロナが広がって何が原因か、何をすべきかも分からなくなっている。菅さん時代はデルタ株、特に高齢者は重症化した。コロナ専用ベッドが足りない、医療従事者が、ワクチンが、と大混乱だった。デルタ時代に首相になった菅さんは運が悪かった。そして、オミクロン時代である。「過度に恐れることなく冷静に進める」と岸田首相は言う。2日連続の感染者4万人超え。私など小心者はうろたえる。

「エッセンシャルワーカー（学校や保育園の先生など）には早期に接種券を、県の接種センターで接種を！」と指示すると、市の担当は「実は3月にならないとワクチンが打てないんです」と言う。「国が前倒しを言っているのに？」県に即電話。「国の指示で、できないのです」聞いてびっくりである。国が3度目のワクチン接種を止めている、おかしな話ではないか。国に問い詰めてほしいと県の部長にはお願いした。4万人を超えても「恐れるな、冷静に」の具体的な中身がこれか！ ワクチンの在庫はある、子どもたちに感染が広がっている、なのにエッセンシャルワーカーの接種は3月まで待てという。岸田首相に秘策があるのか。

この原稿を書き終えたら「県から電話ありました」と秘書室長。「エッセンシャルワーカーに3回目のワクチン接種の前倒しOK」と。いやいや岸田内閣、聞く耳持っていますね。昨日の今日、NOがYESになった。

まん延防止の期間、保育園や認定こども園、幼稚園などへの登園自粛をお願いしている。県内初めてであるが、子どもたちへのオミクロン株の広がりをみれば理解してもらえらると思う。（1/21記）